

科研費共同研究会（成果発表会）：「戦前期日本ペン倶楽部の研究—日印文化交流と国際文化政策」のお知らせ

このたび以下の通り、11月末に科研費成果発表会・研究会を開催致します。1931年以降、強力な文学的磁場であり続けたロンドン、マドラス、そして東京を結ぶ壮大な文化交流、文化政策に関する研究の成果と現況を、皆様とともに共有できればと思います。ご多忙中とは存じますが、何とぞご指導賜りますよう、お願い申し上げます。お問い合わせなどがありましたら、目野由希氏（国士舘大学、yukimeno@mail.goo.ne.jp）まで。

科研費共同研究会「戦前期日本ペン倶楽部の研究—日印文化交流と国際文化政策」研究及び成果還元日程表（2012年11月26日～30日）		
年月日	曜日	予定
11/25/12	日	移動日
2012/11/26 (午前の部)	月	<p>9:30- 12:00 「戦前期日本ペン倶楽部と紀元二千六百年記念エッセイ国際コンテストについて」 於国際文化会館セミナー401室(西館) 発表者:ケネス・ルオフ(ポートランド大学日本センター所長) 司会者:目野由希(国士舘大学講師)</p> <p>ディスカッサント: 加藤哲郎(早稲田大学大学院政治学研究科客員教授／一橋大学名誉教授) ブリッジ・タンカ(デリー大学教授(9月現在・当日は名誉教授予定)) タリク・シェーク(English and Foreign Languages University, Hyderabad 講師)</p> <p>来場者歓迎、使用言語は日本語。</p> <p>この研究会では、戦前期日本ペン倶楽部による対外文化発信のひとつであり、形を変えて大東亜文学者会議へと展開する「紀元二千六百年記念エッセイ国際コンテスト」について、『紀元二千六百年 消費と観光のナショナリズム』(朝日新聞出版)の著者ケネス・ルオフ教授が、新資料を用いて考察する。この「国際コンテスト」が、いかに重層的に、対外文化政策の多国家間覇権争いに関与し／関与できなかったかについては、英・印側からコメント予定。</p> <p>国際文化会館</p> <p>電話 03-3470-4611 大江戸線麻布十番駅出口7から徒歩5分。六本木駅出口3から徒歩10分。 http://www.i-house.or.jp/jp/ihj/access.html</p>

<p>2012/11/26 (午後の部)</p>	<p>月</p>	<p>15:00- ワークショップ: インドペンクラブとマドラス神智学協会 於東京外国語大学拠点オフィス(仮) 司会者: ブリッジ・タンカ</p> <p>発表者1: タリク・シェーク“The Intellectual Climate in West Bengal and the PEN Club, and Japan” 発表者2: ヘレナ・チャプコヴァ(早稲田大学助教)“Theosophy in prewar Japan” 発表者3: ガウリー・ヴィシュヴァナータン(コロンビア大学大学院教授) “The Theosophical Society in Madras and Indian PEN” ディスカッサント: 藤井毅(東京外国語大学大学院教授) 吉永進一(舞鶴高等工業専門学校教授) 使用言語は日本語と英語。</p> <p>このワークショップでは、戦前期日本ペン倶楽部と、ロンドン社交界／マドラス神智学協会／日本外務省／国際的な新仏教ネットワーク／左右両翼による国際文学者会議の隆盛／国際文化振興会／オカルティズム／大川周明の国際ネットワーク／日本の文学者たち／など、多元的なチャンネルでつながっていたインドペンクラブ(マドラス本部・ベンガル支部)について、新資料を用いて討議する。</p> <p>東京外国語大学 電話: 042-330-5332 最寄駅は西武線多磨駅。東京都府中市朝日町 3-11-1。 kenkyu-kenkyo@tufs.ac.jp http://www.tufs.ac.jp/english/</p> <p>午後の部は、会場の収容人数の都合がありますので、来場希望者は事前にご連絡頂ければ幸いです。 午後の部参加希望者連絡先: yukimeno@mail.goo.ne.jp</p>
------------------------------	----------	--

11/27/12	火	<p>13:00- 17:00 於国際文化会館セミナーD室(別館)</p> <p>科研費共同研究「戦前期日本ペン倶楽部の研究—日印文化交流と国際文化政策」 (基盤研究(B)、科研費番号 22320043、2010—2012)</p> <p>研究成果発表会 司会:ブリッジ・タンカ 発表者1:目野由希</p> <p>「ここまでの戦前期日本ペン倶楽部・日印文化交流・国際文化政策研究の進展」 発表者2:タリク・シェーク</p> <p>“The Intellectual Climate in West Bengal and the PEN Club, and Japan” 発表者3:ガウリー・ヴィシュヴァナータン</p> <p>“The Theosophical Society in Madras and Indian PEN” 来場者歓迎、使用言語は日本語と英語。</p> <p>この発表会は、社会への研究成果還元として、前日の発表内容を一般にむけ、国際文化会館を会場として報告するものである。</p>
11/28/12	水	<p>18:00-20:00 於国際文化会館セミナーD室(別館)</p> <p>講演会“Gandhi’ s thought formation and Theosophy” 発表者:ガウリー・ヴィシュヴァナータン 司会:ブリッジ・タンカ 来場者歓迎、使用言語は英語と日本語。</p> <p>この講演会は、共同研究会「戦前期日本ペン倶楽部の研究—日印文化交流と国際文化政策」の時代背景・思想的バックグラウンドとなるマドラス神智学協会の理解に際し、補助線となるガンジー思想初期の神智学協会からの影響を考察するものである。</p>
11/29/12	木	<p>18:00- 20:00 於国際文化会館セミナーD室</p> <p>「総括:「戦前期日本ペン倶楽部研究会」の今後の展開について」 参加者:ブリッジ・タンカ、タリク・シェーク、ケネス・ルオフ、梶原景昭ほか、研究会メンバー</p> <p>原則的には、研究会メンバーによるまとめ・実務打合せなどを行う会合。ただし 2013 年以降、本研究会に参加希望である場合、事前連絡があれば参加可能。</p>

